

びふか 議会 です

こんにちは。

2012年7月号

発行/北海道美深町議会 編集/議会広報特別委員会
〒098-2252 北海道中川郡美深町字西町18番地 TEL01656-2-1651
印刷/有美深印刷



シリーズ
笑顔をつなぐ②

綺麗な花にな～れ
美深小学校の児童たち

第2回定例会 2P ~ 3P

2議員が登壇 一般質問 4P ~ 5P

第82号

組合が導入する固定式チップー

改正美深町企業立地促進条例の適用第1号に



TVhテレビ美深町全区域で視聴可能に
美深町400万円負担で

名寄中継局は、12月から試験放送開始

平成24年第2回定例会は、6月11日から13日までの日程で開催され、条例の一部改正3件、補正予算4件、報告2件、意見書1件が審議され、いずれも原案可決した。

条例改正

●町税条例の一部改正

地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律を受け、美深町税条例に定めている東日本大震災による居住用家屋が滅失した場合の譲渡期限の延長、更に住宅借入金など特別控除の適用期間の特例、固定資産税の地域決定型地方税制特例措置の新設、平成24年度の評価替えに伴う土地にかかる負担調

整措置などの継続と住宅用地にかかる経過措置特例の見直しなどの改正をするもの。
〈全員賛成〉

●国民健康保険条例の一部改正

「地方税法の一部を改正する法律」を受け、美深町国民健康保険条例に定める東日本大震災による被災者居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例を改正し、被災者の負担軽減をするもの。
〈全員賛成〉

●印鑑条例及び災害見舞金交付基金条例の一部改正

住民基本台帳法の改正により、外国人住民に係る住民基本台帳制度の改正に対応するため、関係する条例について所要の改正をするもの。

質問 本町に居住する外国人の数は。生活環境グループ主幹 現在16名の方が居住されている。
〈全員賛成〉

●森林業木材産業施策の積極的な展開に関する意見書(要約)

国の「森林・林業基本計画」などに基づき林業施策の集約化、路網整備、人材の育成などを積極的に進め、道産材の利活用など、森林資源の循環利用を進め、森

平成23年度 一般会計繰越報告

項目	金額
農業研修生等宿舍整備事業他2事業	7,070万円
(仮称)高齢者等活動センター建設用地取得	2,021万円

林・林業の再生を図ることが重要である。

また、東日本震災の被災地の早期復興に必要な木材を安定的に供給できる取り組みなどを国に、実現するよう強く要望するもの。

提出者 諸岡議員

賛成者 中野・小口・

藤守・南議員

補正予算の主な内容

一般会計補正	補正前の額	補正額	補正後の額
	43億5,641万円	5,052万円	44億693万円

主な補正内容

スクールバス修繕費	84万円
各種大会補助金	9万円
青年就農給付金	300万円
人・農地プラン検討会	8万円
道路、河川災害復旧（川西六郷線、パンケ護岸他）	1,700万円
農業施設災害復旧（恩根内牧場）	960万円
林業施設整備（固定式チップパー）	968万円
Tvh名寄中継局開局負担金	400万円

一般会計補正予算から

スクールバス修繕費

質問 指定管理先での事故が起こった場
合の対応はどのよう
なっているのか。

教育グループ主幹

委託業者から報告
を受け教育委員会で
処理している。

質問 委託業者が加
害者になった場合、
どのような対応にな
るのか、またペナル
ティーはあるのか。
教育次長 そうなら
ないよう運行にあたっ
ては、的確な判断と
慎重な対応を求め、
安全運転の徹底を指
導していく。加害者
となった場合は、そ
の時々で判断する。

各種大会補助

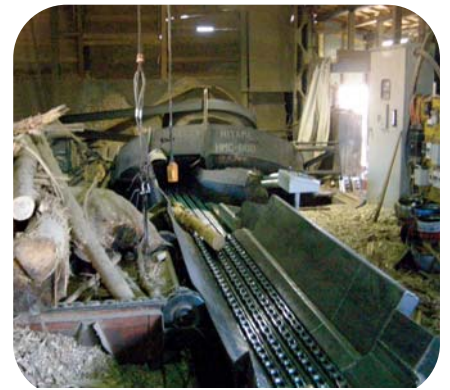
質問 全国大会の参
加経費を1/2補助
しているが、基準を
見直す考えは。
教育グループ主幹
現行基準で妥当と
考えている。

青年就農給付金

質問 支給基準は。
農業グループ主幹
農業を始めて経営
が安定するまで最長
5年の国の新制度。
1件、年間150万
円の給付となり、本
町は2件の該当者が
いる。

人・農地プラン

質問 進捗状況は。
農業グループ主幹
10営農集団中、川
西・吉野・敷島地区
で概要説明が終了し
た。他の7地区は農
繁期が終えたら説明
に入る。



更新される固定チップパー

林業施設等 整備事業補 助

質問 固定
式チップパー
が増額補正
となった理
由は。
施設グル
ープ主幹
申請した
モーターで
は、不充
分というこ
とで、モ
ーターの
増強によ
り、増額
となった。

第1回臨時会

第1回臨時会は、平成24年6月22日開催され、工事請負契約の締結2件について審議され、いずれも原案可決した。

【注1】

用語解説：総合評価指名競争入札とは
価格以外に町内における経済波及効
果の要素を考慮して、落札者を決定す
る指名競争入札方式です。今回、美深
町で試行として取り入れました。

(仮称)美深町高齢者等活動センター建設工事

(新しい入札制度・総合評価指名競争入札【注1】による)

契約の相手方	契約金額	工期
藤守・山崎特定建設工事共同企業体	3億2,550万円	平成25年3月29日
RC造平屋建	建築面積1,328.14㎡ / 床面積1,161.86㎡	

美深町農業研修生等宿舍建設工事

契約の相手方	契約金額	工期
有限会社 松久工務店	5,355万円	平成24年11月30日
木造2階建	建築面積185.76㎡ / 床面積273.64㎡	

一般質問



藤原芳幸 議員

- 1 快適住まいづくりと商工業振興補助金
- 2 高齢者支援の充実

問

快適住まいづくり制度の延長は

答

前向きな検討へ

質問 快適住まいづくりと商工業振興補助金制度は最終年となったが、これまでの評価と制度の延長の考えは。

町長 現時点では効果的で有効な事業である。社会情勢はまだまだ厳しい状況であり、将来に向けてどのような制度にし

ていくか検討課題としていく。

質問 解体に対しての補助金、対象範囲など課題として制度の充実を図れないか。

町長 課題の一つと考えている。新しい制度を検討する場合は加えていきたい。



制度を利用した新築住宅

問

『安心ほっとカプセル』の目的は

答

高齢者支援の充実のために

質問 新事業として『安心ほっとカプセル』事業がスタートしたが、説明をしてきてどのような反応があったのか。

町長 高齢者支援を充実させるため実施することとした。65才以上の独居老人と

障がい者を中心に設置していく。事業に対して理解をしていただいていると考えている。

質問 設置状況は。

町長 約320世帯を見込み160世帯ほどが設置された。



設置が始まった「あんしんほっとカプセル」

設置してもらってよかったという声を多数いただいている。

質問 防災端末設備を活用した、日頃の安否確認の仕組みも考えるべきではないか。

町長 防災端末機の有効利用も大事だが、地域で支えあう社会構造、体制づくりを具体的にどう進めるかが重要だ。

一般質問



諸岡 勇 議員

- 1 農業生産施設整備、環境と調和した農業の推進
- 2 町民菜園の利用案内があるが現状に課題はないか
- 3 移住体験「ちょっと暮らし」の充実を図るべきでないか

問 乾燥調整施設の必要性は

答 意向をふまえ支援していく

質問 昭和55年に建設の乾燥調整施設は老朽化が進み修繕をしながら使用している。米麦生産者が収穫時期を考え調節しながら施設を利用しているが、計画的に複合の施設を新設出来ないか。

美深の自然を生かした、安心安全な特殊な農産物が出来ないか。

また、土づくりについて、汚泥・生ゴミと堆肥を処理し品質の良い肥料にするためには、屋根付堆肥場のような最先端の機能を有する施設が望まれると思うが考えは。

町長 現在の共同乾燥施設は、年間20

0万円程度の修理費を要している。現在事務レベルで検討、26年度の整備を目標にしている。生産者と農協の意向をふまえて、生産基盤整備の支援補助・要請に答えたい。

地域の特性を生かしたクリーン農業について、総合計画で環境と調和した安全安心な農業の推進を

主要政策で取り組み支援している。特に農薬、化学肥料の使用を最小限にとどめ、栽培利益の徹底など、安全な農業生産について早くから取り組んできている。

堆肥盤施設は、平成5年に道営事業により自然環境型農業の推進を図るため整備してきた。

現在、製造される堆肥と地域に還元される堆肥とのバランスがとれた状況であり、さらなる施設の導入は考えていない。



老朽化進む乾燥調整施設

問 町民菜園管理の充実を

答 配慮したい

質問 町民菜園施設の管理が利用者の責任で環境整備がされている。未利用箇所などの管理に苦情や期間の継続方法に課題がないか。

町長 旧美深林務署の苗圃跡に24区画中19区画貸し出しているが、管理に不十分な点は今後は注意したい。

問 移住体験のPRを

答 より促進に努める

質問 移住体験「ちょっと暮らし」事業の充実と利用者の立場での配慮が足りない。一人暮らし利用にも、より多くPRすべき。

本年3組80日利用があり、1組はすでに当町に移住されている。

中期体験型などに2組70日の予約があり、今後も利用促進に努める。

町長 7日以上30日までの短期移住体験は、3年目の事業。

レポート

地域で支える福祉計画に！

介護保険料値上げをサービス向上へ

総務住民 常任委員会

事業について
をしました。

事業についてをしました。

▼調査日
5月7日

調査事項

第5期美深町高齢者保健福祉計画・美深町介護保険事業計画について

▼調査内容

①計画の概要について

今回の改正のポイントは「高齢者が地域で安心した生活を営めるよう、医療、介護、予防、住まい、

生活支援サービスを切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの実現」を目的としている。

介護保険料が基準額で月額3600円、年額4万3200円に設定している。

②在宅介護、施設介護の現状と課題について

居宅サービスの現状は、要介護認定者数の増加で緩やかに上昇している。

課題として、サービス事業所の人材確保とサービス提供体制の見直しが必要。施設サービスの現状は、町内施設は満床状態で、町外施設入所者が微増傾向にある。

課題としては、町内施設入所待機者の把握と介護療養型病床の検討が必要。

▼調査のまとめ

国の制度改正に伴う今回の計画改正は、高齢者を地域で支える「地域包括ケアシステムの構築」が掲げられており、今後は自治会、社会福祉協議会、民生委員協議会が一体となっていくかに作り上げていくかが課題であり、その解消に「地域支えあい体制づくり事業」を推進し、課題を解決していく考えが理事者側から示された。



建築後20年以上利用された特養居室

今回介護保険料を引き上げたことから、介護事業の安定化と第5期計画の着実な実行が求められる。総体の課題として介護事業に係る人材の育成・確保が急がれることから、これらに対する施策の充実が必要。特別養護老人ホームは施設の老朽化、施設環境の改善を早急に進めるべき。

また町内施設入居待機者対策を、ソフト・ハード両面で支援策を講ずるべき。

給食実施の課題を議論へ

学校給食調査特別委員会

◆調査日 4月20日
第2回委員会

調査内容 美深中学校改修検討委員会答申について。

◆調査日 4月26日
第3回委員会

調査内容 給食実施に向けての教育委員会の考え方聴取。

◆調査日 5月7日
第4回委員会

調査内容 幼児センターの給食施設の現状調査。

◆調査日 5月21・22日
視察研修

富良野広域連合南富良野学校給食センター、置戸町学校給食センター視察。
南富良野町では、市街地から遠隔学校への配食体制の現状。

置戸町では、全国的に有名な地元栄養士の指導に基づいた給食体制を調査。

◆調査日 6月22日
第5回委員会

調査内容 給食実施をした場合の問題点の論点整理、給食実施要望書の扱いについて。

委員会

将来を見据えた施策を！

安全で清浄な水の供給を

産業教育 常任委員会

所管する事務
休会中の調査

▼調査日

5月18日

調査事項

簡易水道事業及び給
水施設の現状と課題
について

▼調査内容

①簡易水道事業の運
営状況と課題につ
いて

②恩根内浄水場の施
設の状況について

③水道利用組合が管
理する給水施設の
現状と課題について

簡易水道については清水地区を除く恩根内・西里・富岡地区が給水区域、昭和62年の供用開始から25年経過し、計画人口850人に対し現在351人の利用。営農飲雑用水道は、町内に11施設で水源は、それぞれ湧水・地下水・表流水からの取得、補修更新等については、年次計画を立てながら町が整備している。

▼調査のまとめ
簡易水道については、総延長44kmを超える配水管を有し管路の老朽化や利用戸数の減少に加え管理費の増加、水道料金の収入減、有収量の確保など大きな課題があり、検討が必要である。

各施設の給水施設も設置後30年以上経過している施設も多く、給水戸数の減少に加え高齢化による維持管理など直面する課題は多い。水道事業全般として安全で安定した水の供給に向けた水源の保全、設備の維持管理費等の節減、給水人口の減少を考慮した施設統合など効率化についても、将来を見据えた施策を講じる必要がある。

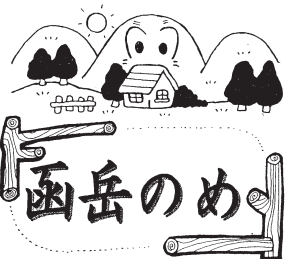


斑溪高台地区水道施設内部

学校給食の過去・現在・未来は…？

過去の議会広報を読んでいると、巡り合いなのか「学校給食・凍結解除するが…？」の欄を見つけた。11年も前に議論していた。現在の論点と違っている場面をみつけた。当時のある議員の質問に学校給食は基本的に食文化の教育方向で進んでいるが、家庭の人が手づくりで、子どもに与えるのが食文化だ基本は家庭にあると、理事者が回答していた。白紙となったが「やる」「やらない」どちらも含んでいると当面はやらないと回答し、0-157で凍結。いつのまにか財政難という問題で白紙だった話である。

現在、町政のリーダーが変わり、是非、学校給食を取り入れたい旨の説明。学校給食特別委員会が立ち上げられ、調査研究が進められている真最中。住民の目がどうあるのかを模索しながら、今後の方向付けと検討を重ねているところである。現在の学校給食の取り組み理由付けの変化は時代の流れなのか？少子化と高齢化社会の到来の中で真に給食のあるべき姿をしっかりと議論の中で示していく必要を感じる。子どもは宝、未来のわが町をつくるのはこの子どもたちであるのだから…。



私からのメッセージ



自然豊かな美深で農業体験実習中！

井戸川 真紀さん（吉野地区実習中）

私が農業をしたいと思った理由は、以前からアロマやハーブが好きだったことと、小さい頃、何度か行った母の田舎の影響がありました。田舎は、山の一番上で本当に何もなかつ

たけれど、水と空気と自家野菜が美味しくていいところでした。そうした影響から新鮮野菜やハーブを自分で育ててみたいと思うようになりました。体験を決めるまで

は、体力のない私に農業ができるのか悩みました。地方紙に載っていた農業体験の記事を見て、インターネットで色々調べ、美深町で出来ることを頑張ってみようと思いました。美深町に着いた翌日から農業体験を開始しました。1カ月が過ぎた頃、みんなに早く追いつかなければ

どの焦りや疲れから挫折しそうになりました。役場の方や農家の方々に助けられて、今は楽しんでイベントや体験を続けていこうと思えるようになりました。自然豊かで優しい方が多い美深町に来て良かったと思います。

国会は消費税法の採決で国の行末が案じられるが、大震災で大きな被害を受けた陸前高田市の『奇跡の一本松』は、種子から18本の苗が育っている。命を繋ぐ生命力にあやかり、充実した広報になるよう頑張っています。ご意見をお寄せください。

（副 小口記）



先人たちの痕跡・恩根内市街

工藤 貢さん（恩根内自治会）

ここに移り住んで4年、先人たちの足跡探しが続いています。

その昔は繁華街として栄えた市街も、今は30軒を切るうとしていきます。

市街地から離れるとさらに戸数は減り、最盛期には野球チー

ムも組めた地域が数軒になってしまいました。

ときどき足を運んでは先人たちの生活跡を探すのですが、ほとんどは跡形もなく自然の中に埋もれてしまっています。

壊れたサイロやブロックを積み上げた

家屋の基礎が草に埋もれていたり、ときには剥がれ落ちた壁の向こうに食器類が整然と並んで今にも家人が現れそうな廃屋も見られます。

それぞれが苦労されて建てたと思われるだけに、今は跡地となつた場所に立つと先人の息吹が伝わってくる気がします。

そんな賑やかな往時の記憶を残そうと諸先輩の協力で地域

の立体模型地図を作り旧恩根内小学校の壁に作り上げました。まだまだ完成とはいきませんが当時の家族の状況もわかり、地域の方はもとより帰省された方々にも往時を偲ぶものになっています。

開墾されて百年超の歴史ですから、今後も少しずつ痕跡を辿りながら形を残していきたいですね。